

History

キラリを再発見

箱式石棺が見つかった横穴群

梶ヶ谷横穴群は、梶ヶ谷老人憩いの家北側の丘陵南向き斜面に立地しており、昭和44年3月の茶畑造成工事中に第1号墳と第2号墳の横穴が開口しました。

第1号墳は丘陵の尾根近くに位置し、奥壁に沿って南北に棺を安置するための棺台が造り出されています。玄室の形態は家形で、玄室床面と棺台双方に小さな円礫が敷き詰められています。

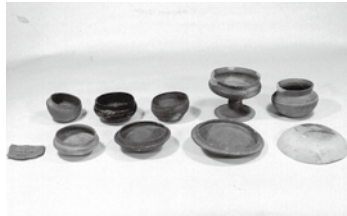
第2号墳は第1号墳の北東に位置し、第1号墳と同様に家形をしていて、玄室内にやっと収まるほどの組合式の箱式石棺が発見されました。市内で石棺が発見されているのは梶ヶ谷横穴群だけであり、注目すべき遺跡です。なお、第3、第4、第5号墳がこの後の工事などで発見されました。

第1号墳からは須恵器9点と土師器底部が1点、第2号墳からは大刀や馬具などの鉄製品が出土しています。また、第1号墳と第2号墳のどちらから出土したか不明な矛や矛の石突き、鉄鏃、鏝といった鉄製品も保管されています。

照会 社会教育課 ☎0548⑥1129



▲出土鉄製品



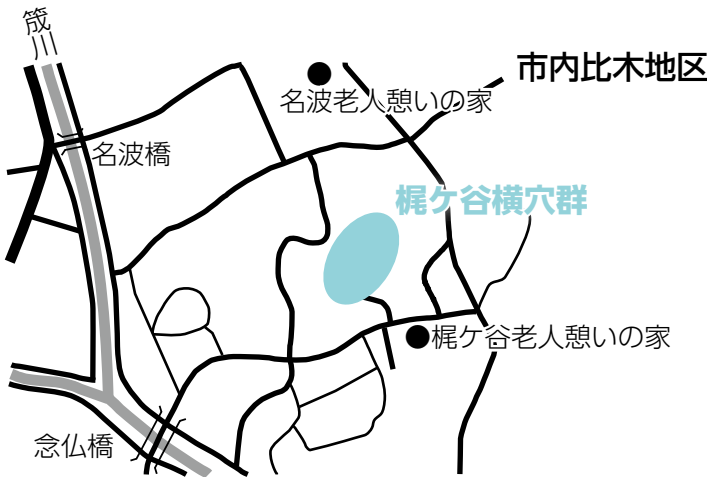
▲第1号墳出土土器類



▲第2号墳出土組合式箱式石棺



▲第2号墳出土馬具



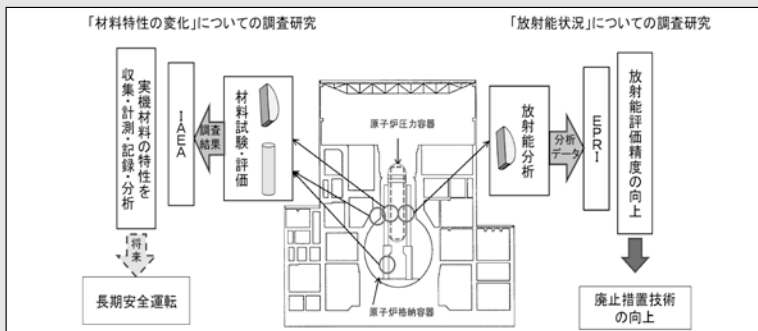
埋蔵文化財包蔵地 梶ヶ谷横穴群

Atomic

暮らしと原子力

浜岡原子力発電所1号機を
活用した国際貢献

浜岡原子力発電所1・2号機は平成21年1月に運転を終了し、同年11月より廃止措置段階に移行しました。この廃止措置は国内商業用軽水型原子炉として初めてであることから、中部電力は廃止措置を安全に実施していくことと並行して、原子力発電所の長期間の安全運転技術および廃止措置技術の向上に役立てるための調査研究を行うこととしています。



▲海外機関との連携イメージ

国際原子力機関（IAEA）の国際プロジェクトに参画する予定であり、放射能状況調査については米国内電力研究所（EPRI）と共同で研究を実施していくとのことです。